

国際森林年記念会議と シンポジウム

10/10

「誰もができる森林保全」

「誰もができる森林保全」をテーマに開かれたこのシンポジウムでは、森の様々な機能が紹介された後、その維持に寄与しているフォレスト・サポーターズやNPO団体の取組などについて、基調講演や実際に活動しているNPOの代表等によるパネルディスカッションが行われ、市民参加型の森林保全の実現が提言されました。



国際森林年1年を通じて、記念会議・シンポジウムが開催されました。各分野の方々が、森林の保全、木づかい運動、地域振興など、様々なテーマについて、議論をしました。その一部を紹介します。

環境保全

9/16

「朝日地球環境フォーラム」

「自然と人間 再生する日本―ポスト3・11のメッセージ」をテーマとしたこのシンポジウムは、エネルギーや農業、震災、国際森林年等を議題とした国内外の識者によるスピーチやパネル討論、分科会などが行われ、環境問題の課題と展望について議論が交わされました。



■国際森林年記念会議・シンポジウム 年間スケジュール

6/21	海岸林を考える～東日本大震災からの復旧・復興に向けて～ [木材会館(東京都江東区)]
7/21	生物多様性・観光と森林 [ウィンクあいち(名古屋市)]
9/16	朝日地球環境フォーラム[ホテルオークラ東京(東京都港区)]
10/10	誰もができる森林保全[国連大学(東京都渋谷区)]
10/25	“森林・林業再生”から見えてくる、日本の未来 [日経ホール(東京都千代田区)]
11/01	よみがえる日本の森～大震災をこえて～ [時事通信ホール(東京都中央区)]
11/09	木づかいシンポジウム [大手町サンケイプラザ(東京都千代田区)]
11/09	森のチカラで、日本を元気に。 [ベルサール九段(東京都千代田区)]
11/15	木質都市への挑戦 [すまい・るホール(東京都文京区)]

10/25

「“森林・林業再生”から見えてくる、日本の未来」

国際森林年記念会議として開催されたこの会議では、基調講演として、欧米の森林利用とその役割に対する考えが提示されたほか、民間林業企業のコストダウンへの取組や木質バイオマス利用に関する開発などの事例が報告されました。パネル討論では、政府が進める「森林・林業再生プラン」の取組状況の紹介や、自然エネルギー立国への提言と同時に、森林再生からの被災地復興についても話し合われました。



森林・林業再生



6/21

「海岸林を考える～東日本大震災からの復旧・復興に向けて～」

掲載) (RINY A7月号)



東日本大震災を契機として海岸林の重要性と再生のあり方を考えるために開かれたシンポジウム。岩手県の高田松原の被災状況、海岸林が船舶など漂流物の住宅地への侵入を防いだ事例や、林野庁内の検討会で議論されている

「よみがえる日本の森～大震災をこえて～」

東日本大震災の復興をテーマに行われたシンポジウム。森と海の関係にふれながら、森林・林業の再生が漁業の再生など復興につながることを提案されました。そのため、循環資源の森林の利用方法に教育、福祉などの要素を様々に取り入れて、うまく活用していくことを参加者に呼びかけました。



11/9

「森のチカラで、日本を元気に。」

若者にも森林の大切さを考えてもらうきっかけとして開かれたシンポジウム。間伐の現状や公共施設での間伐材の利用事例などが紹介されました。また、アイドリンググループの4人がトークショーで間伐の重要性と、森林の大切さをアピールしました。



写真提供：「TOKYO HEADLINE」

11/15

「木質都市への挑戦」

近年ヨーロッパで新たな木造建築が盛んになっていくことを背景に、国内外の識者を迎え、日本における「木質都市」の実現をテーマに開催。ヨーロッパ都市部の木造建築の現状と展望が紹介されたほか、日本の森林・林業の状況をふまえた木質都市実現の意義やヨーロッパに学ぶ日本の木材利用の課題などについて、意見が交わされました。



11/9

「木づかいシンポジウム」

国産木材製品の使用で、日本の森林の育成と環境改善を進める「木づかい」運動がテーマ。住宅メーカーへの間伐材利用が提案されたほか、木のぬくもりを活かしたおもちゃや建築など木づかいの多くの事例が取り上げられ、森林を利用した循環型社会の実現を望む提言がなされました。

